

腹部立体模型説明書

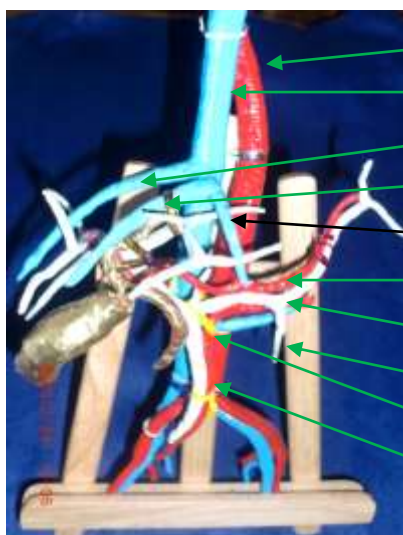
20200225 ShuzouArakaki@新垣 周三

Tel 09019448672

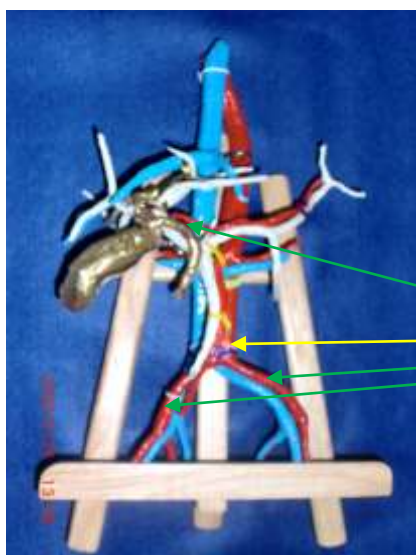
1 模型について

模型は一般的な脈管胆管走行70%程度の分岐を参考に組み合わせ、サイズは身長170cm体重65kgの男性のCT像をもとに縮率0.8で作成しています。

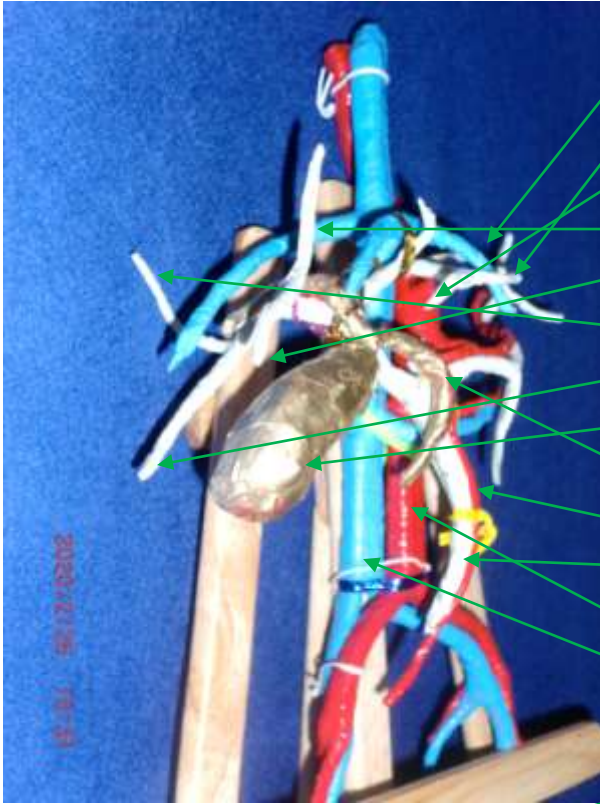
解剖と走行のポイントを解説します



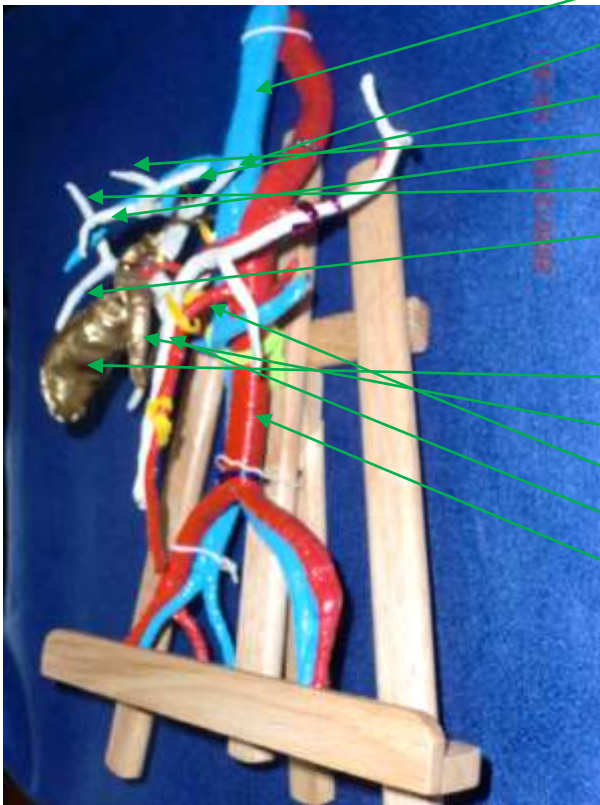
下大動脈
下大静脈
右肝静脈
中肝静脈
左肝静脈
脾臓動脈
脾臓静脈
下腸管膜静脈
上腸管膜動脈
上腸管膜静脈



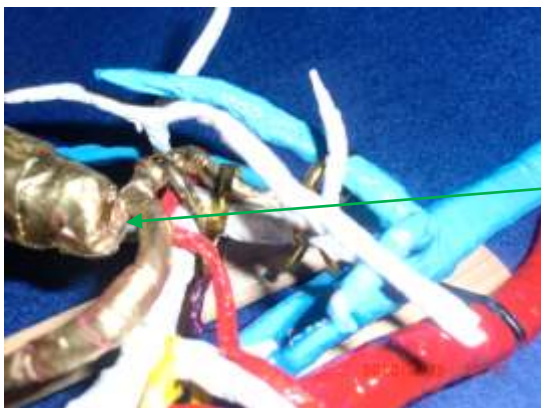
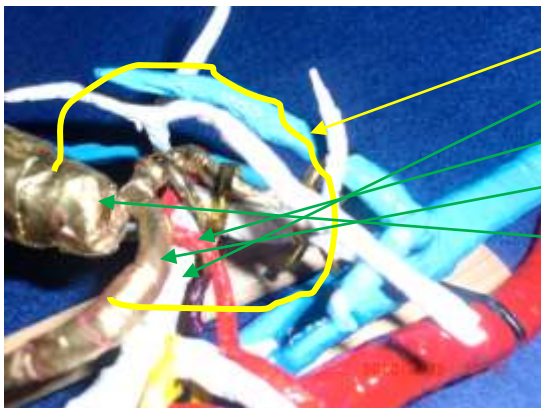
肝管
胆嚢管
胆嚢
総胆管
右肝動脈
臍の位置で動脈、静脈ともに左右の腸骨動静脈に
分岐する



門脈
 Seg2
 Seg3
 Seg4
 Seg8
 Seg5
 Seg7
 Seg6
 GB
 CBD
 SMA
 SMV
 AO
 IVC



IVC
 Seg2
 Seg3
 Seg4
 Seg8
 Seg5
 Seg7
 Seg6
 GB
 CBD
 SMA
 SMV
 AO
 IVC



三管合流部の解剖は重要

門脈

肝動脈

総胆管

胆嚢頸部 (胆嚢管レベル)

門脈の上に乗るように総胆管は門脈と並走します。

胆嚢頸部の位置で総胆管と門脈の間を右肝臓動脈が走行します。

胆摘術の場合その走行位置関係が重要になります

胆嚢管は総胆管右背側に分岐します。

この位置関係も胆摘術に大切な情報となります